

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・お盆時期の来客が例年より多く、購買意欲も高い。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・中旬以降の猛暑があったものの、清涼飲料・アイス クリーム・ビール・発泡酒・乾麺・つゆ等や殺虫剤・ かゆみ止め等の夏物商材の動きが今一歩である。一 方、競合店閉鎖に伴い来客数が増加している。大型 ショッピングセンター等の影響を受けていた店舗も若 干回復しており、売上はやや上向きとなっている。
		コンビニ（エリ ア担当・店長）	来客数の動き	・単価は下降傾向にあるものの、来客数は増加傾向に ある。
		家電量販店（総 務担当）	販売量の動き	・猛暑が続き、出遅れ気味だった季節商材の動きが良 い。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・新車が計画に近い売上を達成した。景気が良くなっ たというよりも新型の発表が2車種ほどあった結果で ある。商品の強化が売上の増加につながっている。
		観光型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・宿泊、婚礼、宴会の基本売上が計画を上回って推移 している。
		都市型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・夏休み時期のイベント開催が多く、来客数が増加し ている。
		通信会社（業務 担当）	来客数の動き	・8月はボーナスや夏休み等により、週末の来客数が 増えている。さらに新サービスの受付により、来客数 は月末にかけて大幅に増加している。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・宿泊、観光施設共に好調である。ゴルフ場は横ばい である。
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・夏のクリアランスセールが終わり、秋物の立ち上が りも悪く、客の購買意欲は低い。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	それ以外	・宮崎の中央市場の相場は3か月前からすると、地元 の野菜がないため県外物がかなり高くなっている。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	来客数の動き	・猛暑のせいか人通りが少なく、来客数が伸びない。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・8月は気温が高かったせいもあり、非常に厳しい。 盆明けから様々な動員策を行ったがあまり効果が出 ていない。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・話題性のある記念文化催事の開催や夏休みのファミ リーを対象とした催事等で客の来店を促進している。 また、中元ギフトも前年を確保している。新しいクレ ジットカードの募集を開始し、宣伝効果により来客数 が増加している。紳士については連日の猛暑により、 前年割れとなっている。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年比97%で推移している。市内 の大型商業施設で前年を割っているところが出てき ており、今までにない傾向である。前年実績をクリア した店が1店舗しかなく、婦人衣料はジャケット、ス カートが動いておらず、紳士はスーツの動きが鈍い。 食料品については菓子全般が好調であるが、ビールは 伸びていない。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・台風により店を早く閉店した日があり、総じて悪 かった。また、周辺の道路が開発されており、様々 なカテゴリーの店の競合が激化している。
百貨店（営業企 画担当）		販売量の動き	・夏物クリアランスセールが6月にスタートし、セー ル期間が長かったため、動員力が低下している。地域 催事などの物販を強化するが、来客数、売上共に前年 割れが続いている。猛暑の影響もあり、秋物の動きは 鈍い。	
スーパー（店 長）	販売量の動き	・既存店の売上が全体的に厳しくなっている。特に単 価の下落というわけではないが、小型の店舗を中心に 買上点数が低下傾向にある。客の年齢層が低い店は押 しなべて好調であるが、高齢者の買上量が減少傾向に ある。		

スーパー（店長）	お客様の様子	・売出しの初日は来客数がかなり増加するが、内容は特売品の買上点数が多く、なかなか全体の売上増加に結び付かない。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・客は以前のようにワンストップショッピングはせず、シビアに商品ごとの購入先を決めている。酒のギフトやカクテルの動きは変わらないが、ビールや発泡酒はディスカウントショップに客が流れている。	
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年並み、売上額は前年を下回っている。	
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・猛暑でアイス、飲料の売上が急激にアップした結果、久しぶりに全体で前年をクリアしている。	
コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・盆過ぎから来客数が減少している。	
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・売上は前年比98%となっている。盆休みが長く、来客数は増加している。しかし夏物の最終売り尽くしで1点しか買わない客が多く、それほど売上は伸びていない。定価である秋物に関してはまとめ買いが目立ち、客単価も高い。	
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・夏休み期間中でヤング層の来場が多く、ヤング衣料品、雑貨、靴が前年を大幅に上回っている。ミセス婦人服は夏物クリアランスセールが好調で前年を10%以上増加し、宝飾も大幅増となった。反面、着物は大幅減であった。全体としてヤング、ミセス共に来客数が前年を10%以上超えている。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・猛暑によりエアコンの売行きが非常に好調であった。残暑が厳しく、盆を過ぎてもよく売れている。しかし全体的な売上は伸びていない。	
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・猛暑が続いているため、家電関係ではエアコンを柱に好調に売れている。ただ出だしの動きが鈍かったため、総じて例年と変わらない。	
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・盆期間中の来客数が前年と比べて少なかった。盆過ぎも高額商品の動きが少ない。	
住関連専門店（店長）	単価の動き	・商品の価格が少しずつ上がっており、販売量が落ちている。	
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油メーカーからの仕入価格が値上がりし、小売価格に転嫁せざるを得なかった。客は燃料油の高騰については割り切った感があり、必要な時に必要な量だけを購入している。	
その他飲食[居酒屋]（店長）	単価の動き	・来客数は変わらないが、注文が少なく、客単価が低下している。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・コンサートやスポーツ大会等のスポット需要で客の動きは良い。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内では、東京、大阪等のテーマパークや近郊の温泉宿泊プランの動きが鈍い。一方、プール付のホテルは好調である。航空機商品は値段の下がる8月20日以降に集中している。	
タクシー運転手	来客数の動き	・予想以上に売上が伸びている。客の様子から猛暑の影響だけではない。	
タクシー運転手	販売量の動き	・暑さのせいもあり、タクシーの動きはやや良い。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・加入者数は引き続き好調である。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴルフ場は来場者数が下げ止まりつつあるが、台風や天候の影響で前年実績を下回っている。	
ゴルフ場（スタッフ）	来客数の動き	・8月上旬の極暑で個人客の来場者が極端に減少した。単価も思ったように推移していない。	
設計事務所（所長）	販売量の動き	・手持ちの工事はあるが、新企画等の話はない。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・売買物件の問い合わせ等の件数が例年と変わらない。来客数も横ばい、成約数も横ばいである。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量も来客数も減少している。天候、気温の影響もあるが、全く良くなる様子がない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・午前中は少しはにぎわっている。しかし日中の猛暑により、冷房設備が不十分な商店街への来街者は減っている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑で来街者数がかかなり減っている。周辺の郊外型大型ショッピングセンターに客を取られている。

	一般小売店 〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・暑い日が続き、お茶の売上は全く伸びていない。例年売れていた中元・初盆の贈答品も、この暑さで売れない。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・バーゲン価格でもまとめ買いがなく、売上につながらない。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・この暑さにより、秋物が全く動いていない。	
	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・秋物商材が店頭に並び始めたが、今年は客の反応が慎重になっている。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・年々盆商材は近郊の大型店が集客して、スーパーマーケットは厳しい状況である。今年の2月から魚の売行きが悪く、盆も前年比80%台で推移している。一方、総菜は前年比110%で好調に推移している。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・中元商戦でギフト関係の動きは良かったが、盆商材の動きが非常に悪く、普通の商品の動きをしている。	
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・猛暑の影響等から、全体的に来客数が減少している。	
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・衣料品の売上が前年割れを続けており、チラシの効果もあまり芳しくない。	
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・急激な天候の変化や自然災害などで季節商材の動きが悪く、特に青果物の価格が安定しない。また、中国産商品への不安から関連商品の動きが悪い。	
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・パン、和洋菓子が前年比96.3%、デリカ部門も同96.2%で前年割れとなっている。	
	衣料品専門店	販売量の動き	・販売量の動きが少なく、来客数も減少している。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・秋物の動きが鈍く、客の購買意欲も上がらない。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・例年にない猛暑となり、客足は途絶えてしまっている。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・客単価の変化はあまりない。客の様子をみると、購買意欲は高いが買い控えをしている傾向にある。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・休みの会社が多く会席が減り、来客数が落ちている。かなり苦戦している。	
	高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・夏休みの週末にもかかわらず、近隣の割烹旅館が数日休んでいた。当店でも例年は盆の帰省客の飲食が多いが、今年はほとんど無い。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は盆休み以降、極端に客足が悪く、厳しい状況が続いている。	
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・インターハイ等で学生団体等が多く、稼働率が上がったが、それ以外の客は例年より非常に少ない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・猛暑により月初めはタクシーの利用が多かったが、体調を崩す人が多いのか、中ごろからは客が外出を控え、車が動かない状態になっている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は自家用車やレンタカーの利用が多く、思ったよりタクシーの利用が少ない。	
	競輪場（職員）	販売量の動き	・発売額の減少が入場者の減少を上回っており、客単価が下落している。	
	美容室（経営者）	販売量の動き	・客の消費動向は悪く、売上が伸びない。	
	悪くなっている	-	-	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数が少し増えている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・以前から計画していた案件の契約が数件成立している。	
	通信業（職員）	取引先の様子	・複数の客から新規案件についての相談があり、良い傾向が見られる。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・取引先の様子をみると、製造業だけでなく非製造業でも設備投資が拡大している。個人消費も住宅投資が高水準を維持するなど、雇用情勢の改善を背景に底堅く推移している。	
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・県知事のパフォーマンスで牛肉加工品の伸びが著しい。加えて中国での食品表示の不祥事などによる国産志向の高まりもあり、スーパー向けの商品を中心に伸びている。

		食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・燃料費、穀物価格の高騰により食材が値上がりしているが、製造した商品価格は簡単には値上げできず、じわじわと影響が出ている。	
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ガソリン価格の高騰をはじめ各材料費の値上げが続いている。販売価格への転嫁はすぐにはできないため利益を圧縮せざるを得ない。	
		窯業・土石製品製造業（取締役）	取引先の様子	・各メーカー等、取引先の様子を見ると、景気はあまり動いていない。金利上昇、燃料の高騰などがジワジワと影響しており、不景気ではないが全般的には上昇もしていない。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規受注が減少気味である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・電子部品関連、半導体関連、コネクタ関連等では、いずれもある程度の在庫調整があるのではないかと予測していたが、3か月前とほとんど変わらず非常に活発に動いている。また、精密機械部品もこれに並行して非常に動きが活発であり、工場はフル操業である。	
		通信業	受注量や販売量の動き	・工事の引き合いや受注量は変わらないが、相変わらず価格は厳しい。	
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・ガソリンを始め原油価格高騰があり、引き続き固定費削減の意識が経営者に多くみられる。	
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・例年にない猛暑により、商店街の人通りもかなり少ない。商店関係の売上、タクシーの動きもかなり鈍っている。	
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注単価に変動がなく、低いままずっと推移している。	
やや悪くなっている		繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油の値上がりで生地や糸、身の回りの雑貨等全てにおいて値上がりしており、悪影響が出ている。	
		鉄鋼業（経営者）	それ以外	・建築需要は相変わらず堅調であるが、改訂建築基準法の施行により計画されていた物件の見直し、着工遅延などが生じている。このため新規物件の動向が不透明となっており、足元における引合・契約に停滞感が生じている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・価格面で厳しくなっており、契約が伸びている。稼働率が非常に悪くなってきている。	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・猛暑で飲料等の売れ行きが良かったが、メーカーの物流経費の削減で、荷動きが多くなっていても収益が少ない。	
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・衣料品の荷動きが特に悪く、食品もあまり良くない。	
		金融業（営業職 渉外係）	取引先の様子	・米国のサブプライムローン問題が発端で始まった世界同時株安や急激な円高により、輸出業者を中心に、企業経営はかなり深刻なダメージを受けている。また原油価格の高騰により、運送業者を中心に企業業績も悪化している。	
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・建設業において、公共工事の発注減が大きく響いており、どこの営業所をみても前期を大きく下回っている。非常に厳しい状況が続いている。	
		新聞社（広告）	取引先の様子	・8月は閑散期となっており、例年動きは鈍くなるが、今年は従来の広告主も出稿を見合わせるなど新聞広告の優先度が低くなっている。	
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・猛暑にもかかわらず、ビールの売上が落ちている。消費者の買い控えが進んでいる一方、低価格酒の売上は上がっている。	
		その他サービス業 [物品リース]（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年8月は盆休み等の影響で受注量が減少する傾向にあるが、今年は特に厳しい。	
		悪くなっている			
	雇用関連	良くなっている			
やや良くなっている		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員求人数が増えている。	
		新聞社 [求人広告]（担当者）	求職者数の動き	・求人数が増加している。	

	新聞社〔求人広告〕(担当者)	採用者数の動き	・北部九州地区は自動車関連産業の進出や設備投資の話題があり、新規の雇用にもつながっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規学校卒業者に対する求人が前年に比べかなり増加しており、企業の採用意欲が好調である。
変わらない	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・技術職の求人は多いが、該当者がみつからず、どの企業も苦勞している。また、販売や軽作業等の求人は多くみられるが、入替えが多いため、新規求人というわけでもない。
	人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・派遣依頼の中でも紹介予定派遣の割合が増加している。しかし全体の受注数は減少傾向にあり、景気が上向きとは言えない。
	職業安定所(職員)	採用者数の動き	・紹介で就職した人の数は前年より若干少なくなっているが、中身を見てみると、高齢者が4割近く、パート求職者が1割増えており、人手が不足している様子である。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・正社員採用を事業主に要請しているものの、求人に占める割合は35%前後で推移している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人内容は派遣請負が全体の20%と変化がなく、新規求人数、新規求職者数共に大きな変動はない。
	学校〔大学〕(就職担当者)	求人数の動き	・08年卒業見込み対象の求人は現在のところ落ち着いているが、秋採用に向けての求人活動の動きが出ている。また、09年卒業見込み学生の求職活動に関連する企業からの問い合わせも出てきており、求人意欲は3か月前と同様に、依然として高水準にある。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関(支店長)	求人数の動き	・長期契約の人材派遣、紹介需要が前年と比べ微減である。短期契約はほぼ横ばいか微増である。
悪くなっている	-	-	-